

～生分解性マルチ利用者を訪ねて～

【地球環境にやさしく、作業効率も上がりました】八千代町 坂入清史さん

生分解性マルチの利用者紹介は、農事組合法人八千代産直（茨城県結城郡八千代町）の坂入清史さんです。坂入さんの畑では一年を通じて白菜、茄子、ピーマン、スイカ、メロン、とうもろこしなど、多くの野菜を育てています。



#### 【導入経緯について】

坂入さんが通常のマルチから生分解性マルチに切り替えたのは5～6年前で、白菜やとうもろこしの栽培で利用しています。

坂入さんは、「収穫が終わった後のマルチをはがす作業は非常に重労働で時間がかかるが、それを生分解性マルチに切り替えたことで、作業時間が短縮され、重労働から解放されるとともに、次作への準備に効率的に取り組めるようになった」と話してくれました。

また、「土壌中にすき込むことでそのまま分解されるので、プラスチックを廃棄する工程がなくなり地球に優しい！環境への負荷を低減する世の中の動きや消費者の関心は、将来どんどん高まっていくと思うので、生分解性マルチの利用はそれに呼応している」とも話してくれました。

坂入さんは土づくりに力を入れており、「土壌中の微生物が生分解マルチをしっかり分解してくれているのではないかと話される一方で、生分解性マルチは、通常のマルチよりも土壌の温度が上がりづらくなるデメリットなども認識されていて、その対応なども検証しながら導入を進めているとのことでした。



### 【生分解性マルチの導入補助事業について】

現在、茨城県では、生分解性マルチへの切り替えや利用面積を拡大する認定農業者等を対象に、購入費用の一部を支援する補助事業を実施しています。環境負荷の低減と農作業の省力化を実現すべく、この機会に是非、生分解性マルチの利用と補助事業の活用を検討してみてください。

補助事業の詳細につきましては以下のURLよりご確認の上、お申し込みください。

[https://va.apollon.nta.co.jp/r6\\_shoryoku-green\\_ibaraki/](https://va.apollon.nta.co.jp/r6_shoryoku-green_ibaraki/)

#省力化・グリーン化同時実現型資材活用推進事業

#生分解性マルチ

#農業用資材

#茨城県農林水産部農業技術課

#農事組合法人八千代産直

